第９期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
全体評価表（令和８年度中間評価）

| 評価項目 | 総合評価 |
|---|---|
| 基本目標１<br>高齢者が生きがいを持って活躍できる社会の実現 | B |
| 基本目標２<br>積極的な健康づくりと介護予防の推進 | C |
| 基本目標３<br>住み慣れた地域における生活の継続支援 | B |
| 基本目標４<br>つながり支え合い、尊厳を持って暮らせる地域社会の実現 | B |
| 基本目標５<br>認知症の早期対応と共生社会をめざす施策の推進 | C |
| 基本目標６<br>安心できる医療と介護の連携 | A |
| 基本目標７<br>介護保険事業の円滑な実施 | B |

A　優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
B　創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
C　課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
D　課題が解決されず、効果が上がっていない

| 全体評価 |
|---|
| B |

担当部署評価

令和 8 年度中間評価においては、目標値に未達であるが、医療専門職を講師として配置する、連続講座として開催するなど、昨年度までの課題に対し改善して取り組めた事業もある。第１０期高齢者総合計画の策定に向けて、評価方法や目標値の設定について再考しながら、令和８年度の年度末には第９期の総合評価を実施していく。

評価委員会評価

令和８年度中間評価では、事業ひとつひとつに創意工夫が感じられた。令和７年度に評価が低かった基本目標４及び５について、今後改善できるかどうかが課題である。第１０期計画につながる課題もみえてきたため、事業そのものの達成度という面と、何を目的に実施しているのかという面の両面から、評価について効果的に考えていただきたい。